

方針	市の重点	学校の教育目標	市の重点の位置付け	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
郷土に根ざした心に残る教育の創造	①個の高まりのある仲間学び ②ルールとリレーションのある集団作り	豊かな心でたくましくやりぬく子	誇りづくり	① わかる・できる喜びを味わう授業づくり	1)基本的な学び方と学習規律が全学級に定着する	B	●算数少人数指導では、「算数が好き」とする児童が74%にとどまったが、「算数がわかる」が87%「少人数指導は楽しい」86%「少人数指導は自分に合っている」91%と学習意欲や学習内容の定着に効果があると考えられる。校内目標である「算数が好き」80%以上「算数がわかる」95%にむけて、少人数指導以外においても授業展開と学習内容を定着させる終末の工夫をする必要がある。 ●「続ける2週間」を各学期に実施した。家庭学習の内容を児童の選択制にしたことや、家庭の協力を得ながら進めることができた。各自の目標の達成率は全校では85%。5・6年生では、91%となった。 ●保護者アンケートで「学力を高めるための指導工夫し分かりやすい授業を行っているか」の評価平均が4段階中3.37という高い評価を得たことは、授業改善の取り組みが授業参観時の様子から感じることができたと考えられる。今後も改善を進めることや学力の確実な定着に向けた取り組みを工夫する。
					2)算数少人数指導で「算数が好き」を85%以上をめざす	A	
					3)朝活動でのドリル学習の継続的な指導をする	B	
					4)個別指導の時間を確保し平均点の1/2以下が6%以下にする	B	
					5)追及する意欲を喚起する課題を設定する	B	
					6)授業のねらいを明確にした授業をすすめる	B	
					7)長期休業中に学習会をもうけ、学習支援をする	A	
			① 学びを定着させる家庭学習	1)学年に応じた家庭学習方法について検討し、指導する	B		
				2)家庭の協力を得、家庭学習向上への取組(続ける2週間)を実施する	A		
			① 校内研究の充実	1)国語を中心とした研究で、年間一人1回は授業公開をする	A		
				2)教育相談週間を各学期に実施する	B		
			絆づくり	② 存在感、所属感を大切にした学級経営	1)学級目標の具現化を意識した取り組みを行う	A	
					2)お互いの活動や頑張りを認め合う場の設定と、価値づけを図る足あとづくりをする	A	
					3)教育相談週間を各学期に実施する	B	
				② 仲間のためにやりきる委員会活動、係活動	1)子どもの願いを実現する場を設定する	B	
2)行事との関連付け、見通しを持った年間計画に基づく活動をすすめる	A						
3)やり切ったことがわかる見届けを工夫する	B						
② 命と人権教育、特別支援教育の充実	1)国府小「ストップいじめ宣言」の改定をする	B					
	2)「いじめアンケート」を毎月実施し、早期発見早期解決をする	A					
	3)配慮および支援対象児童への組織的な対応をする。	B					
郷土教育の推進	② ふるさとへの愛と誇りを高め、生き方の基盤を形成する	1)地域の自然、歴史、文化、場所、人材の活用をすすめる	A				
		2)郷土教育の年間指導計画の見直しと改善をする	B				
	① 教育活動や子どもの姿の積極的な公開と発信	1)学んだ成果や活動の様子を、保護者や地域の方に公開をする	B				

学校関係者評価委員会における主な評価内容

・地域の方との活動が多くなることで、働きかけに対して受け身ではなく能動的になってきている。また、自分の思いを相手(地域の方)に伝える姿も多くなってきている。あいさつが自然にできる姿が良く、地域でもできるためには元気な家庭、家族を築くことが大切である。・学力の定着には教えること、鍛錬することが必要ではないか。・地域が競争心が弱いのではないか。社会に出てから通用する力(向上心)を身につけさせてほしい。